

# ふるさと 再発見⑫



空っ風の群馬県は小麦文化の地といわれています。

伊香保温泉から吉岡町方面に下ると水沢うどんの看板が目に入りますが、その水沢うどんは「日本三大うどん」として有名です。

わが吉岡町の小麦文化といえば「おっきりこみ」ではないでしょうか。

かつて、忙しく働く農家の主婦が、季節の野菜と幅広に切った麺を粉がついたまま大鍋で煮込んだ夕食の定番がおっきりこみです。昭和30年代頃までは、夕食には米よりも小麦の粉物を加工した食事が主流でした。

食べ残したおっきりこみは、翌朝に温め直して食卓に運ばれましたが、

## 「おっきりこみ」と 「たてつ返し」

これが一段と味がしみてうまくなり取り合いとなりました。これを「たてつ返し」といい、煮込まれた芋と麺がとろけ出し、その味は絶品だったことをなつかしく思います。ちなみに「風呂をたて返す」と「たてつ返し」は、同じ意味なのでしょう。※(たてつ返しを「つかき」ともいう。)

吉岡町の水沢街道沿道には、昔からおっきりこみを出す飲食店があり、おっきりこみ街道と命名し、郷土料理として売り出しています。近年、テレビや雑誌で、町内の飲食店が紹介されることが多くなり、おっきりこみを出す飲食店も増えました。

群馬県の「おっきりこみプロジェクト」に、町内の飲食店も参加しています。  
吉岡町商工会HPから <http://wakuwaku-gunma.com/>  
ぐるりと群馬わくわく旅ー武田君が行くーで紹介されています。

### 編集後記

今年の冬は雪の恐ろしさを痛感した冬でした。積雪により住宅および農用施設などに甚大な被害を受けた皆さまに心からお見舞い申し上げます。

さて、3月の定例会は、1年の予算を審議する重要な議会です。一般会計63億2千万円が町民が快適で住みよい町づくりに使われるべく、執行も議員も熱心に審議し、気持ちを新たに新年度に向けてスタートしました。

このたび、第28回町議会広報全国コンクールにおいて、議会だよりが優秀賞入選の栄誉に輝きました。私たち編集委員は、多くの町民が議会だよりを愛読いただいていると期待し、紙面作りに努力しています。ご意見をお寄せいただければ幸いです。(栗田俊彦)

### 編集委員

委員長 石倉 實  
副委員長 飯島 衛  
委員 馬場 周二  
栗田 俊彦  
山畑 祐男  
平形 重男  
金谷 重男